

## 発表事項

(アメリカ合衆国ハワイ州ホノルルの総合病院「クアキニ・ヘルス・システム」への御下賜)

平成 30 年 11 月 16 日

我が国からの海外移住は、今から 150 年前の明治元年にハワイへの集団移住として始まり、その後、南米、北米など各国への移住も行われ、海外移住者は、風土、文化の異なる新たな地での生活を築くために、多くの努力を重ねてきました。その後、我が国からの移住者、また、その子弟は、それぞれの国で活躍し、信頼と尊敬を集め、更には我が国と各国との親善友好関係にも大きく寄与してきています。

天皇皇后両陛下には、皇太子同妃両殿下時代から永年にわたり、このような海外にいる日系の人々の努力に対して深い関心を示され、各国御訪問の際に日系社会の人々にお会いになり、日本で開かれる海外日系人大会に御臨席になったり、御所にお招きになるなどして、親しく接してきておられます。

アメリカ合衆国ハワイ州ホノルル市にある総合病院「クアキニ・ヘルス・システム」は、1900 年 7 月にハワイの日系移民のための慈善病院として設立された「ジャパニーズ・チャリティ病院」を起源とし、1917 年に「日本病院」と名称を変更し、1918 年 9 月にクアキニ通りに当時近代的な病院施設が建設されました。日米開戦ののち米軍の管理下に置かれ、戦後、アメリカ合衆国の一般病院となり、現在は所在する通りの名称にちなみ「クアキニ・ヘルス・システム」として、日系人のみならず広く地域社会に奉仕する総合病院として運営されてきています。

両陛下には、この総合病院「クアキニ・ヘルス・システム」が本年 9 月にその名称の由来ともなるクアキニ通りに建設されて 100 年を迎えたことから、同病院に対して金一封を御下賜になることとされ、11 月 16 日ハワイで行われる、100 周年を記念して開催されるチャリティー夕食会の折に、在ホノルル日本国総領事からその旨伝達する予定です。

なお、同病院に対しては、1918 年に「日本病院」として病院施設が建設されるに当たり、大正天皇・皇后からの恩賜（御寄附）があり、また、1934 年の増床に当たり、昭和天皇・皇后からの恩賜（御寄附）がありました。

本年 6 月、ハワイへの日系人移民 150 年に当たり、ホノルルで開かれた海外日系人大会に出席された秋篠宮同妃両殿下が、同病院を訪問されています。

以上